

## 指 定 管 理 者 評 価 シ ー ト

所 管 課	健康福祉部 健康生活室 長寿・介護保険課
評価対象期間	平成25年4月1日～平成26年3月31日

施 設	名 称	川西市久代老人福祉センター
	所 在 地	兵庫県川西市久代1丁目16番30号
	設置目的	老人の健康の増進、教養の向上等を図るため、川西市老人福祉センターを設置する。
	利用料金制	非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制
指 定 管 理 者	名 称	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会
	所 在 地	兵庫県川西市火打1丁目1番7号
指定業務の内容	<p>(1)老人の生活相談に関すること。                  (2)老人の健康相談に関すること。                  (3)老人の教養の向上のための講習会、講演会等の開催に関する                  こと。                  (4)老人のレクリエーションのための便宜供与及び老人クラブ活動の                  推進に関すること。                  (5)老人の機能回復訓練に関すること。                  (6)施設の使用の許可、その取消し、その他センターの使用に関する                  こと。                  (7)施設及び付属設備の維持管理に関すること。                  (8)開館時間及び休館日の変更に関すること。                  (9)そのほか、市長が必要と認める業務に関すること。</p>	
指 定 期 間	平成24年4月1日～平成29年3月31日	

評価項目及び評価のポイント	自己評価(指定管理者)		一次評価(市・所管課)		二次評価
	評価レベル	所見	評価レベル	所見	所見
1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】	A		A		
(1) 施設の設置目的である事業運営の達成	A		A		
① 事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果が得られているか。	A	古くから近隣の高齢者のグループを中心に利用されており、ほかに施設主催の定例の行事、定期講座などを行っています。グループ利用は地域の方々が自主的な趣味の会の活動の場として利用されています。	A	③事業の案内をチラシやホームページで周知されています。	特にありません。
② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。	B	個人利用はヘルストロンがあり、毎日のように利用されておられる方もいらっしゃいます。主催事業等の案内はチラシや市広報誌、ホームページを利用し広く広報しています。	B		
③ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。	A	③事業の案内をチラシやホームページで周知されています。	A		
改善項目		市の南端であり、駐車スペースもほとんどないために遠方の方が利用するには難しい環境です。			特にありません。
(2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	A		A		
① 施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。	A	高齢者のグループによる利用と主催講座及び定例の催しという意味においては有効に活用されています。ダーツ講座、ヨガ講座は好評で毎回定員以上の参加希望者があります。また、医療講座や、南公民館との共催で健康体操(アンチエイジング)なども行いました。	A	①ダーツ講座、ヨガ講座は好評で多数の希望者がいます。また、医療講座や南公民館との共催で健康体操(アンチエイジング)など独自の取り組みも行いました。	特にありません。
② 実施された事業への参加者数の増が図られたか。	B		B		
改善項目		引き続き定期講座や講演会など主催事業の充実を図るとともに、それを新規グループの立ち上げにつなげて利用者の増を図ることが必要です。		利用者は若干減少しました。利用者の増加を図るよう努力してください。	特にありません。

評価項目及び評価のポイント	自己評価(指定管理者)		一次評価(市・所管課)		二次評価
	評価レベル	所見	評価レベル	所見	所見
(3) 利用者の満足度	A		A		
① 利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。	A	ヘルストロン(高電位治療器)が基金の助成により新規更新され気持ちよく利用されています。恒例行事(敬老のつどい・カラオケグループ発表会等)も毎年欠かさずに行われています。そこで発表することを目標に日々のグループ活動に励んでおられる方もいらっしゃいます。	A	②利用者アンケートを実施しておらず、適切に利用者の意見が反映できているか疑問です。 ④ヘルストロンの助成や恒例行事を行い、利用者の満足につながるよう取り組まれています。	ヘルストロン以外の利用者増に力を入れてください。
② 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られたか。					
③ 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。	A		A		
④ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果が得られたか。	A		A		
改善項目		設備や用具の更新を行い快適な環境にすることがさらに満足度を上げることに必要な要因と思われます。新しい利用グループの立ち上げも必要と思われます。		②利用者の意向を把握するためにはアンケート調査が有効であり、積極的に取り入れてください。	特にありません。
2 効率性の向上に関する取組み【効率性】	A		A		
(1) 経費の節減	A		A		
① 施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みがなされ、その効果が得られたか。	A	水道光熱費・消耗品において徹底して節約を心がけ最小限になるように努めました。 熱中症対策から、夏場の冷房はできるだけ使用していただくように声をかけたので、値上げ分を含めて水道光熱費が増加しました。	A	①サービスの質の低下にならない範囲で節約に努めておられます。消耗品で経費を削減されています。	特にありません。
② 指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるような工夫がなされたか。	A		A		
改善項目		引き続き徹底して節約に努めていますが、利用者にとって負担にならないようにある程度快適な環境を提供しなければなりません。今以上の節減を考えるには設備の更新も必要であると考えます。		引き続き経費の削減に取り組んでください。	特にありません。

評価項目及び評価のポイント	自己評価(指定管理者)		一次評価(市・所管課)		二次評価
	評価レベル	所見	評価レベル	所見	所見
(2) 収入の増加 ※利用料金制を採用している場合のみ評価	—		—		
① 収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果が得られたか。	—	—	—	—	—
改善項目	/	—	/	—	—
(3) 収支のバランスなど ※利用料金制を採用している場合のみ評価	—		—		
① 収支のバランスが適切であったか。	—		—		
② 経費の効果的、効率的な執行が行われたか。	—	—	—	—	—
③ 収支の内容に不適切な点はなかったか。	—		—		
改善項目	/	—	/	—	—

評価項目及び評価のポイント	自己評価(指定管理者)		一次評価(市・所管課)		二次評価
	評価レベル	所見	評価レベル	所見	所見
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】	A		A		
(1) 管理運営の実施状況	B		B		
① 施設の管理運営には、適切な人員配置がされたか。	B	人員数は問題ないですが、所長を含め全職員が児童センターと兼務しています。当センター繁忙時には児童センターの職員も協力可能体制にあります。研修はほぼ個人の自主的なものに頼っています。定期清掃とシルバー人材センターに日常の清掃を委託しています。	B	①久代児童センターと協力され柔軟な人員配置を行っておられます。 ②外部の研修をうけておりません。	特にありません。
② 業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。	B		B		
③ 施設の維持管理が適切に行われたか。	A		A		
④ 指定管理者の提案による新たな取り組みは実施されたか。	B		B		
改善項目		兼務のために職責の範囲が広くまた曖昧になっているように思われます。それぞれの施設に核となる職員をおいて、その人物を中心に業務を回せるようにする必要があります。年間の研修計画を作り実施することが必要です。施設維持のためには計画的に改修を進めていくことが必要です。		②職員のスキルアップのために外部研修の受講を検討してください。	特にありません。

評価項目及び評価のポイント	自己評価(指定管理者)		一次評価(市・所管課)		二次評価
	評価レベル	所見	評価レベル	所見	所見
(2) 個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	A		A		
① 施設の設置目的に応じた効果的な利用者への情報提供・広報活動が十分になされたか。	A	主催事業等のお知らせ等は市の広報誌やホームページを通して伝えられています。個人情報等はいっさい施設から持ち出すこともなく徹底して管理されています。管理会社に夜間や休業時の管理を依頼しています。利用規程に抵触しない限り公平に利用できるように配慮しています。	A	と	特にありません。
② 施設利用者の個人情報の取扱いが適切に行われたか。	A		A		
③ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。	A		A		
④ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。	A		A		
⑤ 事故発生時や非常災害時の対応が適切であったか。	A		A		
⑥ 利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮されたか。	A		A		
⑦ 利用者が限定される施設では、利用者の選定が公平で適切になされたか。					
改善項目		利用者の方が高齢ということもあり、年に何回か体調の不良を訴えられる事があります。すぐにデイサービスの看護師に対応を依頼していますが、職員自身もある程度の対応(処置)が行えることも必要だと思われれます。		③日常の応急措置等の研修を行い職員の対応の向上に取り組んでください。	特にありません。

評価項目及び評価のポイント	自己評価(指定管理者)		一次評価(市・所管課)		二次評価
	評価レベル	所見	評価レベル	所見	所見
総合評価	A	グループ利用は自主的に利用されています。個人利用(ヘルストロン)も安定した利用者数で継続的に利用されています。主催事業も独自に行ったり、隣の公民館と共催したり工夫を重ねています。また、定例の事業(敬老のつどい・カラオケ発表会等)も恒例化しており、地域の高齢者の活動の場として定着しています。	A	高齢化に伴い利用者の増加が予想されるため、利用者の要望や事業の有効性を考慮しつつ、適切な運営を図ってください。	久代児童センターと併設しており、高齢者と子供が交流する世代間交流が行われています。
改善項目		計画的な老朽化対策(施設、設備共)が必要です。今年度は特にありませんでしたが個人で利用を希望される方に対する対応(現状ではグループ利用が原則)も考えるべきかもしれません。			特にありません。